



広げよ 可能性の地図、
定めよ 羅針盤



真摯 勤勉 質実
山口県立小野田高等学校
校長通信（発行不定期）
平成30年12月5日 **第8号**

2045年未来予想図 AI vs 人間

「2045年問題」という言葉は、君たちは聞いたことがありますか。

現在のコンピュータの進歩は、恐ろしいほど加速度的です。計算、ワープロ、グラフィック・デザイン、情報処理や情報検索、そして今や、AI（人工知能）と呼ばれるコンピュータ自体が思考・推論する機能が登場してきています。しかもこのAIは日進月歩で大きく発展してきており、いずれ人類全体の脳を越えるとまでいわれています。実はその年こそが、2045年（「シンギュラリティ」と言われます）なのです。

ちなみに、この未来社会においては、人間が行ってきた仕事の多くがなくなり、AIに代替される、それによって大量失業の時代がやってくるという指摘があります。イギリスのオズボーン博士は2014年に執筆した論文『雇用の未来』のなかで、「今後20年以内に、アメリカの総雇用者の約47%の仕事が消滅する」（日本では49%になる」という試算あり[野村総合研究所とオックスフォード大学の共同研究]）などと述べています。

それでは、本当に、AIは人間の仕事をすべて奪ってしまうのでしょうか。

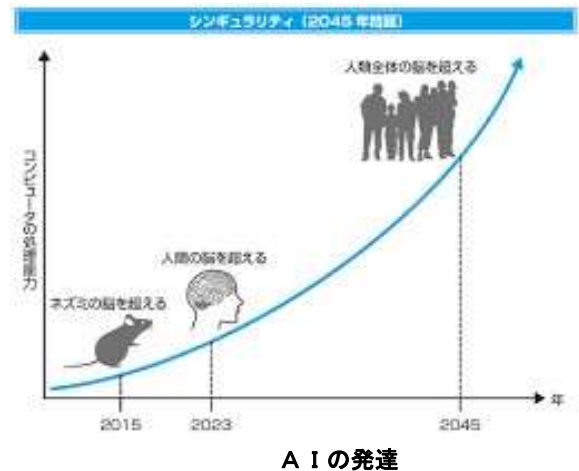
新たな技術革新が多くの雇用をもたらしてきた歴史に鑑みて、AIが多くの雇用を奪うことはないと考える有識者もいます。とはいえ、AIが人間よりも得意な分野はあります。経理や会計、レジの仕事、データ処理等のような早く正確に処理したり予測可能な処理作業は、AIに任せた方が効率的で成果もあがるかもしれません。

しかし、AIには感性や創造力はありません。仕事の目的を設定したり、人間一人ひとりの複雑で多様なニーズに対応することもできません。どれほどAIが発達したところで、その分野は人間の方がはるかに勝っています。AIやロボットの研究・開発、教育、文化・芸術活動、医療や看護・介護などは、引き続き人間が担うことになるでしょう。

このように考えると、これからの人間は、知識それ自体よりも、習得した知識を活用していく力、他者と対話・協働して新しいものをつくりあげていく力、豊かな感性を生かしたもののづくりやおもてなしの心のようなまさに人間的な資質・能力を身に付けていくことが大切になると思われます。

現在、学校教育では、このような未来社会の動きも見据え、知識の習得とともに、思考力・判断力・表現力の育成、また、学びに向かう力・人間性等を涵養していこうという取組が進展しています。そして、この動きは、大学入試改革にも影響を与えています。

21世紀という時代を生きる生徒諸君。時代や社会は絶えず変化します。しかも、今日、その変化は加速度的です。その激変していく未来社会に対応すべく、どのような力を身に付けるべきなのか、自分でもしっかり考えてみてください。



マラソン大会～完走・自己ベストをめざして～

天候にも恵まれ、一人の欠席者もない素晴らしいマラソン大会が開催できました。

部活動等で日頃から走り慣れている人は別にしても、皆さん、マラソン苦しかったでしょうね。途中で「息が切れる、お腹が痛い、足が痛い、もう止めたい」、そう思った人もいるのでは。しかし、

マラソンの醍醐味は、終了した後、流れ落ちる汗とともに味わえる充実感・達成感です。

懸命に力走する君たちを見て思ったこと。それは、人生はマラソンのようなものだということでした。長い人生、楽しいことばかりではありません。辛いこと、苦しいこともある。それを乗り越えて、人は生きてゆかねばなりません。しかし、その人生の中で、何かを達成した時の喜びは、格別なものがあります。

私は、人間の真価が問われるのは、その辛く苦しい時だと思っています。逆境の時こそ、その人の本質があらわれます。逃げることなく、あきらめることなく、前を向いて進んでいく。それができる人が充実した「良い人生」を送ることができる人ではないか、と思います。

紅葉美しき江汐公園で、君たちが頑張る姿から、私は大きな元気とエネルギーをもらいました。感謝します。



3年生へ センター試験までラストスパート！



さあ、センター試験まで残りおよそ1月となりました。

3年間最後の定期考査も終了し、受験生はセンター試験の勉強に邁進できます。

しかし、今、君たちのなかに、このような人はいませんか。「もう試験まで残りわずか。今さら、勉強したって成績は上がらない。」「模試でもE判定。もうあきらめた。」「現役合格はまず不可能。どうせ浪人するんだから適当に勉強しよう。」

違うのです。この最後の日々こそが、最も大切なのです。大手進学予備校にも、「現役生は最後の最後まで成績が伸びる」というデータに裏付けられた実証があります。絶対に諦めてはいけません。このラスト1月が本当の勝負時なのです。

君たちは、受験勉強のために、ずいぶん、いろいろなものを犠牲にしてきたのではないのでしょうか。友人との遊び、テレビ、ゲーム、睡眠さえも削って…。ならば、最後まで、頑張り抜いてほしい。意地を示してほしい。他ならぬ頑張ってきた自分自身のために。

また、君たちは決して一人ではありません。友人が、先生が、家族が、君たちの受験勉強を支援してくれたのではないのでしょうか。その人たちのためにも、最後の最後まで全力を尽くしてほしいと願います。

大学受験は本当に厳しい戦いです。しかし、そうであればこそ、壁を乗り越えた時の喜びは大きい。苦勞した分、本物の幸福感を感じられるのではないかと思います。

頑張れ！小野田高校受験生！！

